

～青少年委員はこんな活動をしています～

青梅市青少年委員は各小学校区に各1名選出された委員16名で活動をしています。

活動報告（令和三年度）

- ・生まれ！おうめっ子・青梅市小・中学生の主張大会審査員・管内研修 【実施】
 - ・多摩第3ブロック研修【延期】 成人式への協力・東京都青少年委員大会【コロナの影響で中止】
- ※その他、子ども会活動・PTA活動・各市民センターのお手伝いもしていますので、気軽に声をかけてください。

新任挨拶

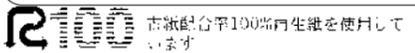
梅本…子供たちが笑顔で成長するお手伝いを頑張ります
 唐津…笑顔でハッピーな活動をしていきたいと思ひます。
 山口…青梅市の子供達の1人でも多くの成長を見守って行ける様、出逢いを大切にしたいです。
 石川…子供たちの無限の可能性を信じて、共に活動して行きたいと思ひます。

青梅市青少年委員名簿

白井 敬子 成木市民センター	小野寺 洋智 小曾木市民センター	樋口 篤史 東青梅市民センター	増田 透 大門市民センター	中山 誠一 今井市民センター	山口 佳子 今井市民センター
渡辺 淳一 沢井市民センター	梅本 亘 梅郷市民センター	内田 紀弘 青梅市民センター	豊田 奨 東青梅市民センター	廣瀬 善規 長淵市民センター	石川 富士男 長淵市民センター
唐津 直樹 大門・新町市民センター	阿多 洋和 新町市民センター	古賀 勝 新町市民センター	岡部 真紀 新町市民センター	岡部 真紀 新町市民センター	岡部 真紀 新町市民センター

編集 青梅市青少年委員協議会
 発行 青梅市教育委員会社会教育課
 青梅市東青梅1-11-1
 Tel 0428-22-1111

令和三年度の活動事例の紹介です。
 「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。
 〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
 青梅市教育委員会社会教育課 「青少年委員担当」まで



青梅市青少年委員だより

令和4年3月 第65号

みらい



青梅市青少年委員協議会 会長 内田 紀弘

新型コロナウイルスの影響により、これまでの「普通」が通用しなくなってから早くも2年以上の時が経過する中、先日とある中学校の卒業式の様子が報道されていました。「普通」であれば卒業アルバムを式の前に渡すのですが、運動会・修学旅行などの大きなイベントの殆どが中止となってしまった為に紙面が埋まらず、写真確保の為に卒業式の写真を掲載する都合上、後日の配布になるという内容でした。「普通」であれば皆でアルバムの写真を見て思い出を語り、寄せ書きをしあって卒業していくものだと思いますが、そんな機会も奪われてしまいました。更に、飛沫感染防止の為に失業式で校歌を歌わせてもらえないという内容に、多感な子供たちが何を感じたのか？を考えさせられる内容でした。

我々の活動も感染予防対策を施し、綿密な計画を練り上げても最終的には風評という側面を加味すると、残念ながら中止を余儀なくされる事態が続いており、「普通」の事を行う事の難しさを痛感している所です。

まだ出口の見えない今の状況、もしかしたらこれまでの「普通」が今後は「普通」ではなくなってしまう時代が到来するの？と考えてしまう事もあります。

しかしながら、仮にそうであったとしても我々青少年委員はこのコロナを出来ない理由にするのではなく、出来る方法を考え、工夫し、少しでも多く子供たちの心に何かを残してあげられるよう更なる努力を重ねていきたいと考えています。

活動の紹介

『集まれ！おうめっ子～木こりの巻』

11月21日(日)



今年も晴天に恵まれた11月21日、NPO法人 青梅林業研究グループの後援を受け、成木の森の中島林業様（成木地区）にて「集まれ！おうめっ子～木こりの巻～」を開催しました。コロナ過の影響で、昨年は半日間のプログラムでしたが、今年是对策を講じて、一日での開催が行えました。市内小中学生14人に対して倒木体験や丸太切りを行いました。又、山のプロの方々からのお話を聞き、郷土の森で今起きている事やその対応策について考えてもらうきっかけを提供する事が出来ました。みんな楽しかったようです。

次回の参加お待ちしております



『委員管内研修』

3月5日(土)

私たち青少年委員の活動は春と秋の事業の他に、自分たちのスキルを上げるために委員研修を行っています。

アイスブレイクや物を使わない簡単なゲームなどの講習を受けていました。

今年度はコロナ過と言うこともあり、以前より実施したいと考えていた普通救命講習を受講しました。

委員16名に聞いた所、3の方が受講経験が無く尚且つ10の方が認定証の期限切れであることが分かりました。

当日はコロナ感染対策を徹底して、委員13名で心肺蘇生・AEDの使い方・気道異物除去・止血法等を3時間、講師の方より教えて頂き無事受講認定証を頂きました。

これからも応急救護講習や普通救命講習等は定期的実施していきたいと思えます。

次回（令和4年度）は、コロナ感染が落ち着いていたら管外研修を企画したいですね。



『青梅市小・中学生の主張大会』

12月4日(土)

ネッツたまぐーセンターにおいて「第17回青梅市小・中学生の主張大会」が行われました。

毎年、青少年委員は7月から11月までの実行委員会に参加し、当日は審査員として出席しています。今回は、小中学生合わせて2600点もの応募作品の中から、第一次審査委員会で通過した作品を第二次審査委員会では小学生15点と中学生20点を採点し大会出場者(小学生6点・中学生10点)を決定しました。

「青梅」のことを真剣に思う小・中学生が意外にも多く、将来像もはっきりと考えている姿は立派です。

市長や教育長も感心されていました。コロナ感染対策で来場者の人数制限をした主張大会でしたが、出場者は会場全体を見回し、堂々とゆっくりハッキリと発表できていました。小・中学生の様々な考えや思いが理解でき、大変貴重な経験をさせていただきました。

令和3年青梅市成人を祝う会 1月9日(日)

昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の為中止になってしまった成人式で旧友との久しぶりの再会がかなわなかった成人の為に改めてお祝いの会が開催されました。「声に出して読みたい日本語」などの著書で知られる齋藤孝先生の講演会は身振り手振りを加えて大人の我々にも役に立つ話でした。何名かが自分の意見を壇上で披露し、早速講演の内容を実践していました。

青梅市成人式 1月10日(月祝)

今年の成人式は新型コロナウイルス感染症対策の為、密にならないよう出身中学別の二部に分かれた開催となりました。検温や手指のアルコール消毒など例年とは異なる対応が必要でしたが、既に新しい生活様式として慣れた感じでスムーズな入場が、できました。約8割の高い出席率で久しぶりに再会した友人達と楽しそうにしている様子を見るとこちらも嬉しくなります。